



平成25年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年3月8日

上場会社名 株式会社カナモト 上場取引所 東・札
 コード番号 9678 URL http://www.kanamoto.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金本 寛中
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経理部長 (氏名) 卯辰 伸人 TEL 011(209)1600
 四半期報告書提出予定日 平成25年3月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年10月期第1四半期の連結業績（平成24年11月1日～平成25年1月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年10月期第1四半期	28,687	37.2	3,881	67.5	3,852	77.0	2,151	84.5
24年10月期第1四半期	20,915	14.4	2,316	107.9	2,176	122.1	1,165	228.7

(注) 包括利益 25年10月期第1四半期 2,762百万円 (120.8%) 24年10月期第1四半期 1,251百万円 (118.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年10月期第1四半期	65.52	—
24年10月期第1四半期	35.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年10月期第1四半期	146,571	43,934	29.0
24年10月期	137,343	41,399	29.2

(参考) 自己資本 25年10月期第1四半期 42,460百万円 24年10月期 40,106百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年10月期	—	10.00	—	10.00	20.00
25年10月期	—	—	—	—	—
25年10月期（予想）	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年10月期の連結業績予想（平成24年11月1日～平成25年10月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	51,240	28.1	4,580	28.9	4,110	24.6	1,970	10.9	60.00
通期	99,150	15.1	7,120	10.7	6,510	9.7	3,190	△10.8	97.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年10月期1Q	32,872,241株	24年10月期	32,872,241株
② 期末自己株式数	25年10月期1Q	40,784株	24年10月期	39,955株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年10月期1Q	32,831,786株	24年10月期1Q	32,834,534株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

将来に関する記述等についてのご注意

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の経済環境予想等に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

[経営環境 (2012 (平成24) 年11月～2013 (平成25) 年1月)]

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、復興需要を背景に景況感に改善の兆しが見られるなか、経済対策や金融緩和に対する期待感による円安基調への転換や株価の上昇などがみられました。一方、欧州や中国を中心とした世界経済の減速や近隣諸国との外交問題、将来の消費税増税など景気後退リスクへの不安感の高まりもあり、依然として景気の先行きは楽観視できない状況でありました。

[第1四半期の連結業績 (2012 (平成24) 年11月～2013 (平成25) 年1月)]

当社グループが関連する建設業界におきましては、復興関連需要などを背景に公共投資が引き続き増加しており、民間では個人消費が住宅投資等を通じ持ち直し傾向にあり、企業の設備投資も収益の回復を受け、穏やかな増加傾向にありました。一方、復興関連需要に伴う技術者・技能労働者の不足、労務費や資材費の高騰などの影響から一部で入札不調や工期の開始遅延等が見られるなど、今後の建設動向についての懸念材料も含んだ状況でありました。

このような中、当社グループは、東日本大震災の復旧・復興を最重要施策に掲げ、復旧・復興需要に的確に対応するため現場のニーズに合わせた機械を集中的に配置したほか、情報化施工をはじめとする技術者不足を補う新技術や省力型新商材の採用や提供を積極的に進めました。また、経営資源の効率運用や業務プロセスの効率化を進め総合的なコスト削減の徹底に努めるなど、収益強化へ向けた体制構築も進めてまいりました。

これらの結果、2013 (平成25) 年10月期第1四半期の連結売上高は286億87百万円 (前年同期比37.2%増) となりました。利益面につきましては、営業利益は38億81百万円 (同67.5%増)、経常利益は38億52百万円 (同77.0%増)、また、四半期純利益は21億51百万円 (同84.5%増) となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

<建設関連事業>

当社グループ全体の建設関連事業における地域別の状況につきましては、まず初めにユナイテッド株式会社の連結組入れにより各地域においてその対前年同期比率が増加していますが、特に関東地区及び近畿中部地区においてその傾向が強く出ております。

北海道地区は得意分野の地盤改良工事やトンネル関連工事など大型プロジェクト工事を的確に受注できたことなどから当第1四半期の売上高は前年同期比15.8%増となりました。東北地区は震災被災地沿岸部での港湾復興関連工事が徐々に動き出したことや、被災地域における復旧・復興に伴う需要の拡大に加え、いわき、福島での除染関連工事等も加わり同43.3%増と大幅に伸長いたしました。関東地区は港湾基礎工事関連など大型プロジェクトの受注に加え、インフラ点検工事、防災関連工事等もあり同75.5%増と大きく伸長いたしました。近畿中部地区は都市圏でのインフラ関連工事や大型プロジェクトの受注もあり同38.5%増、九州沖縄地区は営業圏を拡大し新たな需要を的確に受注できたことから同58.3%増と伸長いたしました。

海外に関しましては、上海を拠点に中国で展開している上海金和源建设工程有限公司は引き続き外部環境が改善されておらず、また、SJ Rental, Inc. (米国準州グアム) も清算により連結から除外したこともあり、連結売上と与える影響は些少でありました。

一方、海外向け中古建機販売につきましては、震災需要への優先対応から資産売却を順延していることもあり、当初の計画どおり同19.8%減となりました。

以上の結果、建設関連事業の当第1四半期連結会計期間の売上高は270億69百万円 (前年同期比40.3%増)、営業利益は37億96百万円 (同69.7%増) となりました。

<その他の事業>

北海道で展開する鉄鋼製品販売事業については、震災復興現場向けや道央圏での販売が好調だったものの冬期の需要減少もあり売上高は前年同期比1.6%減でありました。一方、情報通信関連その他事業ではパソコンレンタル需要や人材派遣ともに伸長し同6.6%増でありました。

以上の結果、その他の事業の当第1四半期連結会計期間の売上高は16億18百万円 (前年同期比0.5%減)、営業利益は17百万円 (同57.2%減) となりました。

[特記すべき事業展開と拠点新設閉鎖の状況]

当第1四半期連結会計期間における拠点の新設と閉鎖はありませんでした。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は1,465億71百万円となり、前連結会計年度末から92億28百万円の増加となりました。これは、主に売上債権の回収等により「現金及び預金」が12億58百万円の増加及び売上高の増加に伴い「受取手形及び売掛金」が18億18百万円増加したこと並びに「レンタル用資産」が57億42百万円増加したことによるものであります。

負債合計は、1,026億36百万円と前連結会計年度末から66億93百万円の増加となりました。これは、主に「支払手形及び買掛金」が14億79百万円の増加、「長期借入金」が19億17百万円並びに「レンタル用資産」等の増加に伴い調達方法である割賦契約を含む「長期未払金」が44億99百万円増加したことによるものであります。

純資産合計は439億34百万円となり、前連結会計年度末から25億34百万円の増加となりました。これは、主に当第1四半期当期純利益を21億51百万円計上したこと並びに保有有価証券の時価が上昇し「その他有価証券評価差額金」が3億53百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年12月7日に「平成24年10月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で開示しました業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結子会社であったSJ Rental, Inc. は清算手続き中であり、重要性が低下したため、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,387,264	20,645,331
受取手形及び売掛金	23,560,769	25,379,543
有価証券	350,000	350,000
商品及び製品	521,615	493,183
未成工事支出金	53,187	35,998
原材料及び貯蔵品	213,177	226,665
建設機材	2,578,013	2,845,613
未取還付法人税等	10,676	1,840
未収消費税等	57,839	10,240
繰延税金資産	616,057	383,427
その他	719,242	603,265
貸倒引当金	△384,382	△322,054
流動資産合計	47,683,461	50,653,056
固定資産		
有形固定資産		
レンタル用資産	111,689,105	119,720,891
減価償却累計額	△65,644,512	△67,933,573
レンタル用資産(純額)	46,044,593	51,787,318
建物及び構築物	22,253,505	22,239,865
減価償却累計額	△14,565,048	△14,701,345
建物及び構築物(純額)	7,688,457	7,538,519
機械装置及び運搬具	5,367,137	5,372,480
減価償却累計額	△4,771,202	△4,793,883
機械装置及び運搬具(純額)	595,935	578,596
土地	29,548,049	29,573,611
その他	1,579,813	1,647,028
減価償却累計額	△1,301,459	△1,318,299
その他(純額)	278,353	328,729
有形固定資産合計	84,155,389	89,806,774
無形固定資産		
のれん	192,389	211,909
その他	203,849	189,594
無形固定資産合計	396,239	401,503
投資その他の資産		
投資有価証券	3,196,840	3,740,736
繰延税金資産	622,077	618,774
その他	1,947,320	1,992,972
貸倒引当金	△590,261	△574,242
投資損失引当金	△67,985	△67,985
投資その他の資産合計	5,107,991	5,710,256
固定資産合計	89,659,620	95,918,533
資産合計	137,343,082	146,571,590

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,011,309	19,491,057
短期借入金	834,688	1,004,783
1年内返済予定の長期借入金	12,671,669	12,225,896
リース債務	1,106,553	1,048,198
未払法人税等	2,344,595	1,389,781
賞与引当金	774,430	370,525
災害損失引当金	10,014	6,486
未払金	9,386,566	9,962,005
その他	1,641,311	1,543,531
流動負債合計	46,781,139	47,042,266
固定負債		
長期借入金	25,945,267	27,862,361
リース債務	3,041,801	3,051,887
退職給付引当金	959	2,498
長期未払金	19,707,957	24,207,172
資産除去債務	207,696	208,534
その他	258,310	262,271
固定負債合計	49,161,991	55,594,725
負債合計	95,943,130	102,636,991
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,696,717	9,696,717
資本剰余金	10,960,761	10,960,761
利益剰余金	19,199,668	21,132,003
自己株式	△27,523	△28,350
株主資本合計	39,829,623	41,761,130
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	331,641	684,756
為替換算調整勘定	△54,766	15,049
その他の包括利益累計額合計	276,874	699,805
少数株主持分	1,293,453	1,473,662
純資産合計	41,399,951	43,934,598
負債純資産合計	137,343,082	146,571,590

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年1月31日)
売上高	20,915,098	28,687,949
売上原価	14,099,491	19,304,549
売上総利益	6,815,607	9,383,399
販売費及び一般管理費	4,498,869	5,502,048
営業利益	2,316,737	3,881,350
営業外収益		
受取利息	1,482	1,968
受取配当金	16,288	16,336
受取保険金	12,654	23,859
受取賃貸料	12,850	10,704
受取報奨金	13,338	1,022
負ののれん償却額	17,458	14,880
為替差益	—	102,011
貸倒引当金戻入額	17,432	7,901
その他	29,873	49,179
営業外収益合計	121,377	227,864
営業外費用		
支払利息	210,974	213,222
手形売却損	12,878	11,885
その他	38,131	31,297
営業外費用合計	261,984	256,405
経常利益	2,176,130	3,852,809
特別利益		
固定資産売却益	1,347	1,809
補助金収入	—	22,262
子会社清算益	19,615	—
その他	138	59
特別利益合計	21,102	24,131
特別損失		
固定資産除売却損	26,806	8,916
その他	126	—
特別損失合計	26,933	8,916
税金等調整前四半期純利益	2,170,299	3,868,024
法人税、住民税及び事業税	873,355	1,385,866
法人税等調整額	111,704	160,298
法人税等合計	985,060	1,546,164
少数株主損益調整前四半期純利益	1,185,239	2,321,860
少数株主利益	19,298	170,851
四半期純利益	1,165,940	2,151,008

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年1月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,185,239	2,321,860
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	60,594	353,238
為替換算調整勘定	5,209	87,701
その他の包括利益合計	65,803	440,939
四半期包括利益	1,251,042	2,762,799
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,228,313	2,573,939
少数株主に係る四半期包括利益	22,729	188,860

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年11月1日至平成24年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)	合計
	建設関連		
売上高			
外部顧客への売上高	19,288,740	1,626,357	20,915,098
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—
計	19,288,740	1,626,357	20,915,098
セグメント利益	2,237,413	40,156	2,277,569

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、鉄鋼関連事業、情報通信関連事業及びその他事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,237,413
「その他」の区分の利益	40,156
その他の調整額	39,167
四半期連結損益計算書の営業利益	2,316,737

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年11月1日至平成25年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)	合計
	建設関連		
売上高			
外部顧客への売上高	27,069,618	1,618,330	28,687,949
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—
計	27,069,618	1,618,330	28,687,949
セグメント利益	3,796,855	17,168	3,814,023

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、鉄鋼関連事業、情報通信関連事業及びその他事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,796,855
「その他」の区分の利益	17,168
その他の調整額	67,327
四半期連結損益計算書の営業利益	3,881,350

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。